

グループワーク素案

- グループワーク参加者～〇〇〇名
(7人掛け×〇〇テーブル, 8人掛け×〇〇テーブル 最大33テーブル)
- 多職種でのメンバー構成。各グループに司会者をあらかじめ設定する
- テーマ ①感想(気づき, 心に響いたこと, 体験談等)
②明日から自分たちができること, その為に知っておきたいこと
- タイムスケジュール

15:20 (5分)	<グループワーク説明> ・グループワークの流れ, 時間配分, 注意点等・司会の説明 ・ファシリテーターの説明
15:25 (25分)	<テーマ①についてグループワーク> ・グループ全体での自己紹介 ・書記と発表者を決定 ・司会者の進行のもと, 個人意見をそれぞれ共有する。 ・書記は同じような意見をまとめたり, 追加で出た意見等を模造紙に追記していく。
15:50 (25分)	<テーマ②についてグループワーク> ・司会者の進行のもと, 個人意見をそれぞれ共有する。 ・書記は同じような意見をまとめたり, 追加で出た意見等を模造紙に追記していく。
16:15	グループワーク発表～3グループ シンポジストと会場参加者との意見交換 各シンポジストと座長より総評
	※意見交換会～総評の時間配分は座長にお任せする
16:55	終了

- 模造紙イメージ

「点から線につながろう」		
①感想(気づき, 心に響いたこと, 体験談等) ・ ・ ・ ・ ・ ・	②明日から自分たちができること ・ ・ ・ ・ ・	②その為に知っておきたいこと ・ ・ ・ ・ ・

○ ファシリテーターの役割

【グループワークのねらい】

- シンポジストの話を聞いた感想を共有する。
- 本人の想いを叶える支援を目指し、医療・介護関係者が互いに努力・協力してきたこれまでを共有する。
- 地域の変化を知ると共に課題を把握する。
- 本人の想いを叶える支援のため、今後の多職種連携の必要性を考える。
- 今、自分たちができていることに気づく。(本人の想いを叶える支援, ACP 等)
- 明日から自分たちができることを考える。

<テーマ①>止まっているグループ, または発言ができていない人がいたら介入

- シンポジストの取組報告を聞いての率直な感想を引き出す。(感じたこと, 心にグッと響いたこと, 自らの体験と重ね合わせて思い出したエピソード等)
- こんな感想で良いのか?と思うようなことでも発言の機会をもってもらおう。

【注意する点】

- 感想は, 個人が思ったり考えたりすることであるので, その感想に批判や指導をするような発言があった場合は適切に介入する。

<テーマ②>止まっているグループ, または発言ができていない人がいたら介入

- 明日から自分たちができることは何か?を考えられるよう, どんな事だったら始められるのか, 明日からできることに限らず, 少し先(将来)に向けてできそうなことでも良いので話してもらえるように促す。(どんな場面で意識的に利用者や患者と関わって本人の思いを聞けるか, ACP についての勉強会を職場で行ってみる等)
- 「今, 自分たちができていること」を気づく機会でもある事を伝える。(例えば, 些細な事柄や, 何気ない会話の中に本人の想いが隠れている, それらをもう既に聞けていることもあるはず, それをこの先, どう次のアクションにつなげるか等)
- 4つの場面(日常の療養支援, 入退院支援, 急変時対応, 看取り)について, 参加者は皆それぞれ何かしらの場面に関わっているはずなので, その経験を踏まえて話してもらえるように促す。経験の無い場面の話であっても他の人の話を参考にイメージを膨らませてディスカッションをしてもらう。
- 「その為に知っておきたいこと」があるようだったら整理してもらう。

【注意する点】

- 知りたい事, もっと知りたい事, 他職種へ聞きたい事の中で, 専門用語のレクチャーが長く続くような状況があった場合は適切に介入する。
(「そろそろテーマのディスカッションに戻りましょうか」「その話題(疑問)は, 全体の意見交換の時間に確認してみてもはどうでしょうか」等)

【発表グループの選定】

- ① ファシリテーター2人がペアになってもらい4～5グループ担当します。
- ② 各担当グループのうち、ねらいに沿った話ができているグループや、ぜひ全体で共有したいと思われるグループをペアのファシリテーターと相談して1グループを選定する。
- ③ 16：25（グループワーク終了10分前位）になったらシンポジスト席に集まり、選定グループを報告（全5グループになる予定）
- ④ ファシリテーターと座長，シンポジスト，センター間で相談して，発表してもらう順番を決める。（時間があれば全グループなければ3グループ程度）

※全体で共有した方が良いと思われる質問等があった場合は，意見交換の場面で対応する旨を伝え，発表に当たったグループは，②の「その為に知っておきたいこと」として話してもらう。当たらないグループは，意見交換会の場面で挙手していただく旨伝える。

【全体として気をつける事について】

- ・ 特定の人が話し続けるという状況があった場合は適切に介入する。
- ・ 特定の職種・事業所等の批判にならないように配慮してください。

<必要物品>

- ・ 模造紙（各テーブル1枚）
- ・ ボールペン（ネーム用紙の記入用として1～2本）
- ・ マジック（各テーブル赤・黒1本ずつ）